

## 第 136 回技術士包装物流会関西支部研究会議事録

H 2 9 年 1 0 月 2 9 日  
関西支部長 高垣俊壽  
作 成 川崎元夫

開催日時：平成 29 年 10 月 26 日（木）18:00～19:20

開催場所：大阪府門真市 パナソニック企業年金基金「松心会館」2F 研修室「4」

出席者：合計 34 名

◆研究会：研究会に先立ち、最近亡くなられた福喜多様、小原様、平山様 3 名の方々のご冥福をお祈りして全員で黙禱を捧げた。

1. 高垣支部長より挨拶された。

2. 新入技術士会会員及び研究会会員紹介

山口誠様（技術士：経営工学部門 ㈱大阪チタニウムテクノロジーズ）

杉村直人（佐川印刷㈱）の 2 名を紹介した。

### 演題：「食品メーカーの容器開発とその背景について」

～㈱明治の包装開発と新商品開発事例をふまえて～

講師：太田 進様 サムズパッケージング研究所 所長

太田様より講演の PPT をすでにお送りいただいているが、それ以外の内容も追加して講演された。

1. 自己紹介と会社㈱明治の紹介

- ・自己紹介をしていただき、最近まで㈱明治研究企画部参与をされていた。
- ・新しい明治ホールディングス㈱の経営体制。㈱明治食品事業領域と Meiji Seika ファルマ ㈱薬品事業領域に事業会社を再編
- ・明治グループの理念：「おいしさ・楽しさ」の世界を広げ、「健康・安心」の期待に応え。「お客様の気持ち」に寄り添い「一歩先ゆく価値」を創造。

2. 食品メーカーの容器開発の考え方

- ・容器包装＝商品はお客様との最初の接点：商品を選択する重要な要素。
- ・パッケージに求められるものは何気なく無意識に使える容器開発が本質。
- ・快適性の提供・ユニバーサルデザイン

3. 開発事例紹介

①明治おいしい牛乳、テトラブリックウルトラエッジ開発。

- ・加熱前に酸素除去工程を加えた生乳風味保持のナチュラルテイスト製法
- ・開封性、再封性に優れ新規性の高いキャップ付き紙容器をテトラ社と共同開発。

②シェルフレディパッケージの採用

- ・プラスチックコンテナより新形態の段ボール製の製品。容易に開封ができ、容易に取出せ、トレイごとの陳列も可能。店頭作業の効率化。ブランド訴求。

4. 安全・安心の取組み

- ・主な食品事故と危険度と健康への影響。（ガラス・金属片・カビ・毛髪・昆虫・フィルム片等の混入、食中毒、アレルギー物質表示漏れ、容器包装からの移行物質など）
- ・食品用器具および包装容器に関する規制について。
- ・規制に関する検討会、現状と課題について。
- ・日本と諸外国の容器包装関連の容器包装関連のポジティブリスト導入比較。現在、欧米・インド・中国などはポジティブリスト制度で、日本・韓国・カナダ・ロシアはネガティブリスト制度であるが、日本は現在ポジティブリスト制度に変更することを検討中。
  - ポジティブリスト制度：使用を原則禁止した上で、使用を認める物質をリスト化
  - ネガティブリスト制度：使用を原則認めた上で、使用を制限する物質をリスト化

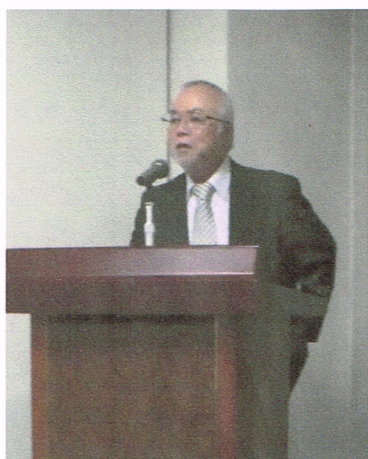
※発表後に「食品包装容器の開発」についての多様な質疑応答があり、さらに理解を深めることが出来ました。

◆懇親会：10月26日（木）19:30～20:30 出席者33名 松心会館 大広間  
岡田支部相談役の乾杯の音頭で開会し、米田会員の中締めで閉会した。

◆第137回研究会予定

2017年12月12日（火）：松心会館 2F「3」

講師：今西英昭様（メットライフ生命保険㈱）より「健康経営に向けた効果的な福利厚生制度  
CEBのご提案」についてお話を頂きます。



挨拶される高垣支部長



講演される太田所長



新入の杉村様（左）山口様



乾杯の岡田支部相談役



懇親会参加の皆様



締めの米田会員